

平成 30 年度第 2 回逗子市スポーツ推進審議会 議事録

- 日時 2018 年（平成 30 年）11 月 2 日（金）午後 3 時～3 時 45 分
- 場所 逗子市役所第 4 会議室
- 出席者 （敬称略、順不同）
大河内誠（会長）、佐久間健（副会長）、宮川光男、金子博暢
- 欠席者 村田祐子
- 事務局 文化スポーツ課：翁川担当課長、土屋係長、鈴木主任、森主事
- 公開の有無 有
- 傍聴人の数 0 人
- 資料
事前配布資料
資料 1 平成 30 年度第 1 回逗子市スポーツ推進審議会 議事録（案）
資料 2 平成 29 年度逗子市スポーツ推進計画評価調書（案）
（審議会での意見（案）まで記入）
当日配布資料
次第
名簿
参考資料 1 スポーツの祭典 2018 イベント別参加者集計表
参考資料 2 スポーツの祭典 2018 チラシ
- 記録 森主事 2018 年（平成 30 年）11 月 2 日記録

開会

定数の確認

事務局

本日は、委員数 5 名のうち 4 名の出席がある。「逗子市スポーツ推進審議会条例」第 7 条の規定により、会議が成立していることを報告する。

資料の確認

事務局

「逗子市スポーツ推進審議会条例」第 5 条第 3 項に基づき、この後の進行は会長にお願いする。

前回議事録の承認

会長

前回の議事録の承認をお願いする。

事前に送付した資料1「平成30年度第1回逗子市スポーツ推進審議会 議事録(案)」について、異議はないか。

【異議なし】

会長

異議なしとのことで、本議事録について承認することと決定した。

【議事】

(1) 平成29年度逗子市スポーツ推進計画の評価調書について

会長

それでは、議題1「平成29年度逗子市スポーツ推進計画の評価調書」について、事務局から説明をお願いする。

事務局

事前に送付した資料2をご覧いただきたい。

前回の、第1回会議では、評価調書の所管課の自己評価をお示しし、委員の皆さまから意見をいただいたうえで、審議会としてのA,B,C,D評価まで決定した。

本日の第2回会議では、事前に送付した評価調書の「審議会での意見」の内容について、意見をいただきたい。いただいた意見を基に更に加筆修正の後、委員の皆さまの最終確認を経て、確定する。確定した評価調書は、今年度末までに教育長に報告する。

審議は、4つの事業それぞれ順番に行う。

事務局

資料2について、第1回会議において、事務局が作成した自己評価について意見をいただいた。その意見を「審議会での意見」として事務局がまとめた。「審議会での意見」について、1事業ずつ説明するので委員の皆さまの意見をいただきたい。

(事業1「逗子市スポーツの祭典の開催」の「審議会での意見」について説明)

会長

「逗子市スポーツの祭典の開催」の「審議会での意見」について、修正等の意見があればお願いしたい。

会長

第1回会議において、「逗子市教育委員会点検・評価に関する報告書」に対して低い評価を付けた一方で、たくさんの努力や様々な工夫を行っている点については素直に評価すべきという委員の皆さまの意見を反映した「B：予定どおり進捗。」の評価である。

東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた組織委員会の準備は順調とは言えず、その下支えをする市町村も順調ではない中で、逗子なりに頑張っていると思われる。

金子委員

「審議会での意見」は、適当だと考える。

会長

他に、意見・質問等があればお願いしたい。

【特になし】

会長

次に「スポーツと健康づくりに関する情報の充実と提供」について、事務局から説明をお願いします。

事務局

(事業2「スポーツと健康づくりに関する情報の充実と提供」の「審議会での意見」について説明)

会長

「スポーツと健康づくりに関する情報の充実と提供」の「審議会での意見」について、修正等の意見があればお願いしたい。

第1回会議において、スポーツ少年団の立場である宮川委員から、「小学生のためのスポーツ団体一覧」があったことで参加人数が増えたという意見をいただいた。また、金子委員からも、県の立場からお褒めの言葉をいただいた。

会長

他に、意見・質問等があればお願いしたい。

【特になし】

会長

次に「小・中学校を拠点とした子どもの健康・体力づくり」について、事務局から説明をお願いします。

事務局

(事業3「小・中学校を拠点とした子どもの健康・体力づくり」の「審議会での意見」について説明)

会長

「小・中学校を拠点とした子どもの健康・体力づくり」の「審議会での意見」について、修正等の意見があればお願いしたい。

【特になし】

会長

次に「「うみかぜクラブ」の活動内容の充実」について、事務局から説明をお願いします。

事務局

(事業4「「うみかぜクラブ」の活動内容の充実」の「審議会での意見」について説明)

会長

「「うみかぜクラブ」の活動内容の充実」の「審議会での意見」について、修正等の意見があればお願いしたい。

「地元の企業を探す等の工夫」、「会費以上にお得感のあるメニューの検討」とあるが、現時点で事務局で把握している情報はるか。

事務局

「地元の企業を探す等の工夫」についての情報は特に得ていない。

また、「会費以上にお得感のあるメニューの検討」については、うみかぜクラブの毎月の定例会議において随時話し合われているはずである。しかし、具体的なメニューについては情報が上がっていない。

会長

行政が推進することは難しいと思われるが、他市の事例では“運動後のアルコール1杯”等、運動後の気分転換とコミュニケーションを図ることを目的に、運動とお酒をセットにした企画がある。逗子アリーナと市内商店をセットで紹介するような取り組みがあっても面白い。

事務局

評価調書は平成 29 年度の事業に対する評価であるので記載がないが、平成 30 年度からうみかぜクラブは、自立的な運営を目指し大幅に改革を行った。

その一つとして、市民交流センター温水プール（以下「プール」という。）からの撤退は大きな影響を与えた。格安料金でプールを利用できたことから多くの参加者があったが、会場費が比較的高く、プールメニューを開催しないこととした。代わりに、「ノルディックウォーク」等の、会場費のかからないメニューを充実させた。

また、会員の特典として「喫茶かあむ」や「湘南スポーツ」、「オリンピアスポーツ」の優待利用券を取り入れる等、様々な取組みを行っている。

会長

その取組みを続けていけば、スポンサーになる市内商店が増加するかもしれない。

事務局

「湘南スポーツ」や「オリンピアスポーツ」の販売力が増加すれば、それを見た他の商店からのスポンサーの増加も望める。

うみかぜクラブの参加者には、逗子だけでなく葉山や六浦の方もいる。プールメニューは市外料金が絡むため、逗子市民の会員と葉山町民の会員が同じ料金でプールを利用できるのかといった、一般の利用者との不公平感があった。

実態としては、市民だけを対象にすると会員数が伸びないが、対象の幅を広げることで制約が生まれるといった、異なる問題をうみかぜクラブは抱えている。

金子委員

総合型地域スポーツクラブとして NPO 法人化することで、企業との連携が取りやすくなるのではないかと。例えば、企業の福利厚生に関する委託事業を受け入れ、会社員の健康増進のために逗子アリーナ等を積極的に利用してもらおうといった形が考えられる。課題はあるが、先ほど会長が話したように、仕事帰りに逗子アリーナ等に立ち寄り、その後さらに飲食につながっていくと、収益の増加が図られると思われる。NPO 法人としての強みを前面に出し、企業と連携し、会員数を増やしていくと発展的になるのではないかと。

会長

昨今の「つながり」の流れは、例えば市内一周駅伝に市内店舗が団体チームとして参加する等、地域密着型の動きが進んでいる。企業も、地域へのアピールや地域密着型の動きシフトしてきており、企業との連携は今がねらい目である。「つながりづくり」を広げていくことで、逗子らしさが出てくるのではないかと。

金子委員

スポーツ推進と病院との連携も重要である。NPO 法人単独では厳しいが、病院の理解が得られれば、アスレティックトレーナー（AT）や理学療法士（PT）がうみかぜクラブに参入し、メニューの指導者になることも考えられる。すでに福岡県では委託事業で実施し、かなり効果的であると聞いており、神奈川県でもやり方を模索している最中である。

会長

事務局は、本日の審議での委員の意見を「審議会での意見」に反映させたものを作成し、委員に再度送付して、最終確認をしていただきたい。最終確認が終わったら、平成 29 年度の評価調書の確定とする。

今後の流れについて、事務局から説明をお願いします。

事務局

今後の最終確認までのやりとりは、メール等でさせていただく。また、確定した評価調書は、今年度末までに教育長に報告する。

(2) その他

会長

次に、議題 2 「その他」の『スポーツの祭典』について、事務局から説明をお願いします。

事務局

参考資料 1 及び参考資料 2 をご覧いただきたい。

例年は 11 月第 2 土曜日に実施していた『スポーツの祭典』であるが、今年は 10 月 21 日(日) 10 時～15 時に逗子アリーナ及び第一運動公園で開催した。

市の緊急財政対策に伴い 2018 (平成 30) 年度の助成金は全額カットされたが、主催するスポーツの祭典実行委員会は何としてでも開催したいとの意見にまとまり、お金がない中で工夫して開催する方法を 1 年間検討してきた。その結果、『市民まつり』と同時開催し、相互にイベントを補完することで開催にこぎつけた。

例年は、池子の森自然公園や市民交流センター温水プール等でも実施していたが、『市民まつり』と同時開催するため、逗子アリーナと第一運動公園野球場に場所を限定した。

イベント数について、昨年度は 37 種目あったが、実施場所の限定に伴い 25 種目と、12 種目減少した。

『スポーツの祭典』の参加者数の合計は、延べ 1,731 人である。昨年度は 1,644 人であったため、87 人増加している。イベント数が減少している一方で参加者数が増加しているのは、『市民まつり』との同時開催が影響していると考えられる。

会長

ただいまの説明について、意見・質問等があればお願いしたい。

金子委員

「神奈川工科大学ロコモ診断」は大変興味深い。どのような内容で、どのようなつながりがあったのか。

事務局

あるイベントに高橋勝美教授が参加し、偶然それを見学していた平井市長と話をして『スポーツの祭典』に参加することとなった。当日は、高橋教授とそのゼミ生に来てもらい、

様々な最先端機器を使用したロコモ診断を行った。実施場所の広さは、メインアリーナの1/4（バスケットコート半分程度）であった。

金子委員

高橋教授とのつながりで、ロコモティブシンドロームを予防する機器が逗子にも導入できたら良い。このつながりを絶やすのはもったいないので、大事にしてほしい。

事務局

当初、同じメインアリーナで「ボッチャ」や「車いすレース」等を実施することを伝えたら、厳しい環境であると言っていたが、逗子アリーナに高橋先生が来られて、できる範囲でセッティングしようと柔軟に対応してくれた。ロコモ診断も丁寧な診断であり、参加した方は大変満足していた。

今年の『スポーツの祭典』は予算がない中で工夫した、その一つの現われではないか。

会長

他に、意見・質問等があればお願いしたい。

【特になし】

事務局

スペインセーリングチームの事前キャンプについて報告する。

スペインセーリングチームの事前キャンプが決定し、2020年まで相互に協力することとなった。

9月18日（火）に逗子市とスペインセーリング連盟、株式会社リビエラとの三者による協定締結式、9月19日（水）に小坪小学校で交流会を行い、大盛況であった。

来年も「セーリングワールドカップ江の島大会」及び「東京2020オリンピック プレ大会」のために来逗し、2020年まではバックアップ体制を取る。また、セーリングチームのバックアップだけでなく、国際交流や地域活性化等、文化的な交流も実施し、事前キャンプの効果を高めていきたい。

一方で、今年の「セーリングワールドカップ江の島大会」は9月に実施したが、来年は8月に実施する予定である。海水浴のトップシーズンや児童・生徒の夏休みと重なってしまうので、交流会等の実施について配慮が必要である。

会長

小坪小学校はサマースクールを実施しているので、調整がつきやすいのではないかと。

宮川委員

スペインセーリングチームは、どこに宿泊したのか。

事務局

リビエラ逗子マリーナである。

会長

他に、この場で何か連絡したい方はいるか。

【特になし】

会長

本日の議事は終了した。以上で「平成 30 年度第 2 回逗子市スポーツ推進審議会」を閉会する。

事務局

次回の審議会は、平成 31 年度に入って 6 月頃を予定している。任期为平成 31 年 3 月 31 日までであり、できれば引き続き委員を務めていただきたい。詳細な日程については、後日調整する。

◇◇◇終了◇◇◇

以上